

令和5年2月1日

○令和5年1月27日（金）三重県が携わっている工事現場で技術職員（総合土木職）から仕事のやりがいを聞ける工事見学会を行いました。



桑名市大字稗田から桑部にて実施している工事現場の見学及び若手職員とフリートークを行いました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の取組の徹底を図りながら実施しました。

- 検温
- 参加者関係者全員のマスクの徹底。
- 開催前・終了後のアルコール消毒

県土整備部建設企画監及び人事委員会事務局より三重県職員(総合土木職)の担う役割はこのような公共工事(道路・河川・砂防工事など)を通じて、ここにいる学生等の皆さんの暮らしを支えるとともに、生命や、住んでいる財産を守っていることの説明を行いました。



工事現場（施工区域外）では桑部橋橋梁下部工事及び員弁川堆積土砂撤去工事について工事を担当している県職員（総合土木職）から河川内で施工する橋台、橋脚の施工方法や事故を未然に防ぐ安全対策の説明、川を濁らせずに堆積した土砂を施工する方法など、具体的な施工に関して工事監督を行うにあたり気を付けていることや、工事の進捗状況について説明を行いました。





桑部橋下部工事の施工業者であるの現場代理人から説明を受ける様子



県職員（総合土木職）の監督員から、今建設している橋梁の大きさや工事の  
手順、完成の予定時期などの説明を行いました。また昨年度工事で完成した橋  
台、橋脚を実際に目のあたりにし、学生等の皆さんは興味津々の様子でした。

工事の見学だけでなく、土木構造物の測定など、現場監督の体験をしていただく予定でしたが、大雪による悪天候により現場体験を中止とし、その代わりに工事施工区域外から、県総合土木職員及び施工業者監督員から現場の施工状況の説明や施工方法、施工に関する質疑応答を行いました。



桑部橋下部工事の施工状況の説明や施工方法、施工に関する質疑応答の様子



員弁川堆積土砂撤去工事の施工状況の説明や施工方法、施工に関する質疑応答の様子

工事現場説明後は県桑名庁舎に戻り、若手総合土木職員が担当している道路事業の説明の後でフリートークを行いました。



入庁2年目の若手総合土木職員による道路改良事業に関する概要説明



閉会の挨拶として、桑名建設事務所事業推進室長及び人事委員会事務局より総合土木職で携わる業務は公共事業の計画・測量・設計・工事・保全すべてに関わることから、専門性や経験を有することが求められるため、若い技術者の力が必要である。職業を決める一手に今回の説明会がお役に立てることを願っていることを伝えました。

若手総合土木職員と参加者によるフリートークの状況



今回の三重県庁現場説明会に参加した高校生・大学生の皆さんにアンケートへのご協力いただきました。以下にアンケート結果（抜粋）をご紹介します。

Q内容はいかがでしたか？

- ・今まで、県職員の仕事内容があまり分かっていなかったが、今回の説明会で理解することができました。また、県職員は一人で仕事をするのではなく、チーム全員で行っていることが分かり、安心して試験を受けようと思いました。
- ・自分と比較的歳の近い職員の話が聞くことができたので良かったです。また、若いうちからプロジェクトに携わることができるというのは魅力的だなと思いました。
- ・総合土木職員の方々とフリートークの時間を多く取っていただき、様々なお話を聞くことができた。現場体験が中止になったのは残念だが、総合土木職の仕事を知ることができてとてもよかった。
- ・天気が良ければ、実際に現場体験を試みたかったです。
- ・県職員の業務を間近に見ることができ、また、たくさんお話を聞くことができ、今後の進路選択にとってもためになりました。

学生等の皆さんが三重県職員（総合土木職）や建設業、建設工事に関心を寄せていただけたら幸いです。

ご参加くださった学生等の皆さん、ご協力くださった、建設業関係の皆さんに、この場をお借りしてお礼申し上げます。